ブラジル朝日新聞
（毎日伯新聞）
伯國聖市マニエス九九九番地
ブラジル朝日新聞社
本紙定價年六十ミルレイス
外國郵稅共百廿ミルレイス

大戰勃發一周年

颯爽・亂舞する獨鷲群
巨彈炸裂地上を震憾
凄絶、英の高射砲一齊咆哮

Bombardeio aereo allemão sobre a Inglaterra

（ロンドン三日同盟）英國の對獨宣戰布告一周年記念日の三日、獨空軍は午前一時廿二分英本土各地に來襲、引きつゞき午前十時廿分またもや來襲しイングランド東南地方の某市上空ではメッサーシュミット戰鬪機群に護られた獨爆撃隊の大群は英戰鬪機隊と激烈な空中戰を展開、同地方では未だ嘗て見さるほどの英獨空軍の大決戰が行はれた

この空中戰ではロンドンに空襲警報が發せられたどが耳を聾し、地上に炸裂する爆彈の轟音も万雷のごとく響き、擬鍵、高射砲の咆哮なる飛行機の邊りを震撼したといはれる、なほ午後五時廿分に至りまた

英空軍の不法空襲
スイス國、嚴重抗議發す

【ベルリン三日同盟】英國の侵襲なるスイス領空襲撃に亘らば駐英スイス公使を引揚げ英獨斷交に至るべしとの警告を發したが、三日スイス政府は英政府に對し、若し英國の侵襲なるスイス領空襲撃に亘らば駐英スイス公使を引揚げ英獨斷交に至るべしとの警告を發した、一方スイス政府は英國に對し抗議を發せられると共に高射砲の猛撃が行はれたもロンドンに空襲警報が發せられた

英米間の協定成立
老朽艦讓渡に決定
英側の宿願漸く達成

【ロンドン三日同盟】米政府の對英驅逐艦供與ならびに英屬領租借に關する協定成立に關し英外務省スポークスマンは、三日記者團に對し右協定の成立は英海軍に最も有効な援助を意味するものであると左のごとく語つた

英國が米國の驅逐艦を絶對に必要としてゐたことは秘すべくもない事實であつたが、しかしこれと同時に米國が大西洋において英領諸要衝の海軍基地を英國から租借することはパナマ運河の防備を强化するものである、しかしてこの租借協定には主要灣港は絶對に含まれてゐないものであり、本國との行政的關係は極當局間の協議の結果英本國政府と自治領との關係に似たものとなつてゐる

批判は一切避け
獨側愼重な態度

【ベルリン三日】英米兩國間に協定成立した艦齢超過艦五十隻の讓渡に關しドイツ政府當局は極度に愼重な態度を持しつゞけてこれが批判をさけ、ドイツ政府としてはこれに關する國際法を全面的に檢討したあとでなければその態度を決定することが出來ぬと述べてゐる

英米驅逐艦
現有勢力

【ニューヨーク三日同盟】米國政府は英國に對し驅逐艦五十隻を讓渡することに決したが、この結果米海軍の驅逐艦勢力増減は左の通りである

現有勢力 一艦齢超過艦一六九（但しうち四六隻は敷設艦その他に改裝されてゐる）艦齢未超過艦（卽ち一九三四年以後建造のもの）七八合計二四七、英國へ讓渡の五十隻を除き當分の殘存勢力一九七、目下建造中のもの七七、建造予算のみ確定せるもの七四

かくて一九四四年末には三百廿八隻となる予定である、これに對して英國驅逐艦勢力増減左の如し

開戰當時の英佛總勢力二五五、佛の降伏ならびに破壞沈沒による英現有勢力一六五（但しうち三分の一は修理中で活動隻數は百隻以下

戰火の怒濤へ
郵船・諏訪丸敢然出帆

【ロンドン三日同盟】郵船諏訪丸はいよ〳〵リヴァプールを敢然出港することになつたが、同船はベルファスト寄港の豫定を變更して、そのまゝアイルランドのタプリンに直航する模樣である

鳳翼更に南方へ
淡水（臺灣）飛行場を整備
規模は正に東洋一

【東京四日同盟】東亞共榮圏の前進基地として北と南に二大空港が整備せる現在わが南方への定期航路は台北—廣東台北—バンコクであるが、更に近く上海—台北線外數線の開設が豫定されてゐる、海を渡る航空機は主として水上航空機の利用が各方面から要望されてゐるので、台灣總督府は淡水飛行場の整備に乗り出し、來月から着工、明年度末までに竣工する豫定で、これが完成すれば現線は東洋一となる、横濱—淡水間を水上機が就航し、また淡水から南にグアムと延びてパラオまでのルートが約束され、内台線は水上機二本立をとり、南大平洋は最近開始となつた蘭内線既設の横濱—サイパン—パラオ線と共に四通八達網横の網が張巡せる豫定で、完成の上は現在の如く水害の心配もなく空の起點として眞價を發揮する筈である

英の對米買付物資
既に廿六億ドル突破
半額以上は飛行機代

【ワシントン三日同盟】イギリスの對米物資買付委員會々長アーサー・パービス氏は三日今次大戰勃發以來現在までに買付けたアメリカの物資は二六億ドル以上に達すると發表した、このうち半額以上は航空機購入にあてられたのであるが、今後も益々増大するであらうと發表した、今後も益々増大するであらうと

戰局の推移に鑑み
徵發通貨を改訂
英大藏省で發表

【ロンドン三日同盟】イギリス大藏省は通貨金融防衛令により米佛、カナダ佛、ベルガスイス法、フランス法、ギルダー、アルゼンチン・ペソ、スエーデン・クローネ、ノルウエー・クローネ、蘭領西印度ギルダ、同東印度ギルダ、ニューファウンドランド弗、パナマ弗、フイリッピン・ペソ、ポルトガル・エスクド、米ドル、カナダ・ドル、スイス法、スエーデン・クローネ、アルゼンチン・ペソ、ベルギー領コンゴ法、蘭領西印度ギルダー、同じく東印度ギルダー、ニューファウンドランド弗、パナマ弗、フイリッピン・ペソ、ポルトガル・エスクド、米ドル、カナダ・ドル、スイス法、スエーデン・クローネ、アルゼンチン・ペソの大藏省への賣渡しを命じたが、戰局の推移に鑑み、三日右徵發通貨の改訂を發表した、今回の改訂による徵發通貨は左の通り

地上砲火を冒し
わが海鷲大奮迅
浙かん線一帶に再爆襲

【〇〇基地四日同盟】中支艦隊根拠部發表、海軍航空部隊は三日浙かん線西部方面の偵察攻撃を實施せり、卽ち廣信において地上砲火熾烈なるも攻撃目的を遂し、弋陽、貴溪、中間驛において貨車一一、その附近においては機關車に命中八輛、南方通路において軍需品運搬中の車輛約三〇個、トラック二輛、樂阜縣において機關車一、客車五輛を銃撃、その東方においては機關車一、貨車一一を銃撃、これを破碎せる他軌道を寸斷せしめ、鑾溪驛において貨車一一、その附近においては機關車に命中八輛、南方通路において軍需品運搬中の車輛約三〇個、トラック二輛、樂阜縣において機關車一、客車五輛を銃撃、敵に多大の損害を與へた

地中海上
伊軍の戰果

【ローマ三日同盟】伊軍司令部發表

一、三日中に地中海において伊軍は英海軍の一艦隊を發見これに連續的攻撃を敢行し、敵航空母艦の艦首に命中弾を投下莫大な損傷を與へた外、敵主力艦、巡洋艦、驅逐艦などにも重大損傷を與へ、空中戰において敵四機を撃墜した

日滿ロータリー
滿廿年の幕閉づ
今後は新體制へ再出發か

【東京四日同盟】改組か解散かの岐路に立つて各方面から注目されてゐた日滿ロータリー聯合會では四日午後東京會館に聯合委員會を開催、米山會長はじめ十六委員出席、最後的協議を行つた結果、解散と決定、直ちに左の決議を日滿四十七支部に通告した

決議 われ〳〵ロータリーの主義精神は國家社會に貢獻し得るものと信ずれども、内外の情勢に鑑み國際關係を離脱し、獨自を改正することを必要と認め、これがために一先づ解散することに委員の決議一致す

かくて解散支部の電撃的解散決議に續いて發して、現在の十倍程度に増資する

地中海上
伊軍の戰果

【ローマ三日同盟】伊軍司令部發表

一、三日中に地中海において伊軍は英海軍の一艦隊を發見これに連續的攻撃を敢行し、敵航空母艦の艦首に命中弾を投下莫大な損傷を與へた外、敵主力艦、巡洋艦、驅逐艦などにも重大損傷を與へ、空中戰において敵四機を撃墜した

米の記者團一行
南洋、東洋視察の旅から
重慶にも立寄る

【香港四日同盟】南洋、東洋視察中の米國記者團は濱介石、米ジョンソン大使と會見の後午後重慶發香港に飛來する予定である

カー英大使
重慶行き

【香港三日同盟】重慶來電によれば去る廿七日上海出發香港經由、重慶訪問の途についた英支英大使カー氏は三日午前香港より重慶に到着した

電力日本の力！
愈よ北支へ伸張
東電・大倉商事乘出す

【東京四日同盟】東京電燈、大倉商事との提携による電燈流燈器製造會社の設立は年内完了を目指して準備中であるが、その方針とするところによれば内地および北支にそれ〳〵一會社を設立する豫定で何れも五千万圓の資本を有するものと見られるが、計畫の主要點は次體次の如くである

一、内地に設立の新會社は東京電燈、東京瓦斯系の東興電氣を母體とし、現在の十倍程度に増資する

一、北支に設立の新會社は東電、大倉商事が各四分ノ一づゝ、残り半分を關係銀行が出資し、その實を中心に大臨市場の電氣需要を確保する

日印航路の
往航運賃
引上げを決定

【東京四日同盟】日本ボンベイ、日本カルカッタ兩同盟では三日往航運賃を現行率の數高二割方引上げを決定、十二月一日から實施、右は第二次引上げで戰前の四割高となつた

歐洲戰がチャンス
ブラジル綿布輸出活況
お得意先は亞國市場

今次歐洲戰はブラジルの綿布輸出に思はぬ好況を齎した、海外輸出に思はぬ好況を齎した、ブラジル綿布はこの機會を利用し進出し本年一月亞國向け綿布輸出は四、六一七トンに上つてゐる、なほ一九七五に上つてゐる、なほ一九コント、二月には更に五、一

國名	一九三九	一九四〇
アルゼンチン	一九六	三三〇
ボリビア	三六	一九六
チリー	三六	二七
コロンビア	一九九	一九四
パラグワイ	二三	一一三

伯國々軍へ爆撃機
アメリカから飛來
米飛行會社から購入

ニューヨーク發TO電によるとブラジルが發注した用合の爆撃機中最初の六台が近々發送される運びとなつたといはれる、右は伯國政府から米國加州イングルウッドのノースアメリカン飛行會社に發注し

日滿ロータリー
滿廿年の幕閉づ
今後は新體制へ再出發か

【東京四日同盟】改組か解散かの岐路に立つて各方面から注目されてゐた日滿ロータリー聯合會では四日午後東京會館に聯合委員會を開催、米山會長はじめ十六委員出席、最後的協議を行つた結果、解散と決定、直ちに左の決議を日滿四十七支部に通告した

決議 われ〳〵ロータリーの主義精神は國家社會に貢獻し得るものと信ずれども、内外の情勢に鑑み國際關係を離脱し、獨自を改正することを必要と認め、これがために一先づ解散することに委員の決議一致す

かくて解散支部の電撃的解散決議に續いて發して、現在の十倍程度に増資する

米の記者團一行
南洋、東洋視察の旅から
重慶にも立寄る

【香港四日同盟】南洋、東洋視察中の米國記者團は濱介石、米ジョンソン大使と會見の後午後重慶發香港に飛來する予定である

カー英大使
重慶行き

【香港三日同盟】重慶來電によれば去る廿七日上海出發香港經由、重慶訪問の途についた英支英大使カー氏は三日午前香港より重慶に到着した

日印航路の
往航運賃
引上げを決定

【東京四日同盟】日本ボンベイ、日本カルカッタ兩同盟では三日往航運賃を現行率の數高二割方引上げを決定、十二月一日から實施、右は第二次引上げで戰前の四割高となつた

伯國々軍へ爆撃機
アメリカから飛來
米飛行會社から購入

ニューヨーク發TO電によるとブラジルが發注した用合の爆撃機中最初の六台が近々發送される運びとなつたといはれる、右は伯國政府から米國加州イングルウッドのノースアメリカン飛行會社に發注し

蘭印見剖
住民
日本とは親類筋
似た言葉や嗜好

海軍大佐 堀内茂忠

分農業で家は開けたところは最近はスレートの屋根で銀瓦の家に士人が住んでゐるが少し田舎へ行くとやはり竹の柱に茅の屋根といふやうな簡單な建物が多く、地方に行くと屋根に日本の神社の千木のやうなのが見られる、これは何といつても日本と古代において若干關聯のあることが分る、スマトラにゐるバタックの人の家は壯大なものである

服裝は腰にサロンを卷いて大部分は上着を着てゐないが、最近は大分シヤツを着るやうになつた、更紗はジヤワで盛に作つてをり、そのこれが日本に來て帶になつてゐるが、もと〳〵は腰に卷くサロンである

食物は米を主食品としてゐるがその他玉蜀黍だとか熱帶の果物が無盡藏にある、大體日本人とは親類筋なので、嗜好も似てゐるし言葉もよく似たのがある

日本で左様といふのをマレイ語でヤヤといひ、着物がボロ〳〵だとか、小さくなつてキチ〳〵だとか、ゴツ〳〵やつてゐるといふやうなことをいふし、ブラ〳〵歩きをブランブランなんていつてをり、人文史を研究して見ると確に親類筋である、言葉の排列なんかも日本とよく似てゐる

◇蘭印の政治

統治狀況についていふと最高の分州になつてゐて、そこに各理事官をおいて統治をやつてゐる

治安は比較的從來はよく維持されてゐる

國防方面は陸海軍の軍備は主として國内の治安維持に重點を置いてゐるが、ジヤワには二ケ師團、蘭領西印度ギルダー、ニューファウンドランド弗、パナマ弗、フイリッピン・ペソ、ポルトガル・エスクド、米ドル、カナダ・ドル、スイス法、スエーデン・クローネ、アルゼンチン・ペソ

ルギー領コンゴ法、蘭領西印度ギルダー、同じく東印度ギルダー、ニューファウンドランド弗、パナマ弗、フイリッピン・ペソ、ポルトガル・エスクド、米ドル、カナダ・ドル、スイス法、スエーデン・クローネ、アルゼンチン・ペソ

地中海上
伊軍の戰果

【ローマ三日同盟】伊軍司令部發表

一、三日中に地中海において伊軍は英海軍の一艦隊を發見これに連續的攻撃を敢行し、敵航空母艦の艦首に命中弾を投下莫大な損傷を與へた外、敵主力艦、巡洋艦、驅逐艦などにも重大損傷を與へ、空中戰において敵四機を撃墜した

日滿ロータリー
滿廿年の幕閉づ
今後は新體制へ再出發か

【東京四日同盟】改組か解散かの岐路に立つて各方面から注目されてゐた日滿ロータリー聯合會では四日午後東京會館に聯合委員會を開催、米山會長はじめ十六委員出席、最後的協議を行つた結果、解散と決定、直ちに左の決議を日滿四十七支部に通告した

決議 われ〳〵ロータリーの主義精神は國家社會に貢獻し得るものと信ずれども、内外の情勢に鑑み國際關係を離脱し、獨自を改正することを必要と認め、これがために一先づ解散することに委員の決議一致す

かくて解散支部の電撃的解散決議に續いて發して、現在の十倍程度に増資する

電力日本の力！
愈よ北支へ伸張
東電・大倉商事乘出す

【東京四日同盟】東京電燈、大倉商事との提携による電燈流燈器製造會社の設立は年内完了を目指して準備中であるが、その方針とするところによれば内地および北支にそれ〳〵一會社を設立する豫定で何れも五千万圓の資本を有するものと見られるが、計畫の主要點は次體次の如くである

一、内地に設立の新會社は東京電燈、東京瓦斯系の東興電氣を母體とし、現在の十倍程度に増資する

一、北支に設立の新會社は東電、大倉商事が各四分ノ一づゝ、残り半分を關係銀行が出資し、その實を中心に大臨市場の電氣需要を確保する

日印航路の
往航運賃
引上げを決定

【東京四日同盟】日本ボンベイ、日本カルカッタ兩同盟では三日往航運賃を現行率の數高二割方引上げを決定、十二月一日から實施、右は第二次引上げで戰前の四割高となつた

伯國々軍へ爆撃機
アメリカから飛來
米飛行會社から購入

ニューヨーク發TO電によるとブラジルが發注した用合の爆撃機中最初の六台が近々發送される運びとなつたといはれる、右は伯國政府から米國加州イングルウッドのノースアメリカン飛行會社に發注し

ブラシ製造者
豚毛輸入に對策

【大阪三日同盟】輸出向けブラシ製造用豚毛の輸入は從來個人リンク制を採用し來つたが滿洲及び支那における經濟事情の變化に伴ひ最近その輸入がとみに圓滑を欠くに至つたのでこれが對策として今回貴よ有力ブラシ製造業者をもつて豚毛の一元的輸入を目的とする資本金百万圓の東亞豚毛輸入株式會社を設立することになり、三日大阪で發企人會を開催することになつた

東亞文化協議會
第四回閉幕

【北京四日同盟】去る二日より三日間北京に開會の東亞文化協議會第四回評議委員會は東方文化聯盟に關する諸重要問題を議了四日閉會した

大戰速報台

▼…伊國ステファニ通信によると英國王ジョージ陛下は猛威加はる獨空軍の襲撃にロンドンを脱出何れかへ避難されたと傳へてゐる

▼…ルーズベルト米大統領はモント・スモーキー國立公園開場式で、われらは紀元もいつまで自由な米國民のものであるか判らぬ、米國人は奴隷でばかりはやつて行けぬとアチ演説を一席試みた

▼…佛印カトリック總督はベタン政局に叛逆せる廉で銃殺されたとフランス本國政府發表

▼…ルマニア問題を片付けたドイツ政府はトルコ政府に對しフォン・パーペン大使を通じて强硬な經濟的要求を突付け、きかねば實力をもつて威嚇したに對し、トルコ側も負けずにドイツ同樣强硬決意を有する旨答へたと

▼…香港、上海筋から出た米國電は日本が佛領印支那に對し日本軍の同地進駐に關する最後通牒を渡したと報じてゐる

爲替

【聖市 四日】

伯米 自由 公定
米伯 公定 公定
伯日 公定 公定

新政治體制 緒につく

近衛新内閣の成立と同時に登場したいはゆる新政治體制については、目下準備會の手において愼重審議中であり、もとよりその具體的全貌は未だはつきりしないが、新體制の性格および方向だけは會議の進捗につれて、漸次明らかにされて行く模様である、尤も新體制の大體の輪廓は近衛公が樞府議長を辭した頃から公の腹臣において熟しつゝあつたものであらうし、米内々閣退陣し公が出馬した頃には公の新體制に對する固い決意は出來上つてゐたと見られる

近衛公がこれほどまでに深く決意したのは現下の國際情勢に照して、日本の國情が現狀維持では到底やつて行けぬこと を痛感したからであり、また國民一般の間においても日本はこの際何とかせねばならぬとの一種の革新機運が彌漫し、公の驅起を促がしたからに外ならぬ、と同時に近衛公の胸中に支那事變勃發當時の内閣首班者としての責任感これに事變兩三年間に内閣の更迭四度に及び、しかも事變はなほ終熄せずして加ふるに歐洲大動亂に際會し、日本の國歩はますゝ艱難を加へるといつた事情からして、公の政治家としての責任感はますゝ強く揺り動かされたと見るべきであらう

但し公が最初から政治を守んで倒閣運動など起したものではなく、公の心底から期待したものはいはゆる國民新組織の問題であり、新しき日本を背負つて起つべき素地を作ることであり、どこまでも全國民を基礎にするものであつた、區々たる政黨や、或いは又獨伊の亞流たる一國一黨の獲得ではなかつたと見られるこの意味で今度の新體制運動は日本の〝エスタード・ノーボ〟運動と見るべく、どこまでも全國民的政治運動であつて、これによつて當來の日本を現時局進んで將來の線に沿つて革新し、再組織するものといへよう

たゞ時局の緊迫振りが激しく、近衛公にかゝる遠大な計畫を悠長に實行させる余裕を與へなかつたゝめに、公は新内閣の首班たると同時に新體制の組織者たる役割を一返に背負ねばならぬ破目となつたものである、勿論新體制と政府との關係は不即不離のものではあるが、新體制確立が目下の日本に[illegible]より重大意義を持ち、殆んど日本今後の運命を決定すべき筋合ひからして、内閣との比重は比較に

なるまい

日本の新體制についてよく獨伊のナチ、ファッショと並べるものがあるが、これは近衛聲明中にもある如く、その成立經過、性格動向に際しても、獨伊側の獨裁制とは大い に相違してゐる筈である、たゞ現下の戰時日本として國難を切抜けるためには、或いは獨伊のとつた如き政策を採用せざるを得ぬかも知れぬ

新體制今後の健全なる發展成長こそ、日本の運命を決すべき重大事として深甚なる注目をこれに寄せざるを得ない

新組織全貌提示

總括論から先づ一轉 愈よ具體的組織論へ

「試案」を中心に愼重討議

A nova ordem politica, segundo um jornal de Tokyo.

（東京四日同盟）讀賣所報、三日の第二回新政治體制準備會はかねて常任幹事の手許で準備した新體制組織試案、即ち〝新體制建設國民協力組織〟と新體制完成の際における政治經濟文化各體制と政府諸機關との關聯を示す、縱二間横三間の大圖表とが提出されたので、前回の總括論より一轉して具體的なる組織論に入り本格的審議に移つた

當日の論議の中心

一、新體制と現存諸團體との調整問題

等であるが、當日は組織の全貌が示されたばかりだけに、質問も概括論が多く細目の點については次回に持越されることになつた

組織大綱試案＝大要

（東京三日同盟）三日開かれた新體制準備會第二回會議は無よ本日十時半より宋次信正の更迭四度に及び、しかも事變の最後決定せる左のごとき新體制組織大綱試案を中心に、三時間餘にわたり眞摯活潑な討議を重ね、次回は六日開かれる、組織大綱試案大要左のごとし

一、新組織は新體制建設國民機關と（中核體として中央本部を置く）下意上達の諮問機關を（中央組織新體制促進中央協力會議とし約三百名の代議員をもつて構成す）設ける

一、中央本部の下に事務局、聯絡部、調査部、總務、政策、組織、議會、經濟、文化、青年訓練、厚生、民生活、指導、宣傳、東亞の十一部を置く

一、新組織は上意下達の執行機關と（中央組織）下意上達の諮問機關を（中央組織）

一、新體制の中核體たる中央本部以下の各系統執行機關および新體制促進協力會議の性格、人的構成およびその存置期間

一、新體制と帝國議會との關

畏し聖上御臨幸 陸士晴の卒業式

戰術、築城作業も天覽

（東京四日同盟）大元帥陛下には四日神奈川縣相模原士官學校に行幸、第五十四期生徒卒業式に臨御あらせられた、この日 陛下には午前八時五十分蓮沼侍從武官長以下側近を從へさせられ略式軍裝にて宮城御出門、同九時十分原宿驛より宮廷列車に召させられ同十時卅五分原町田驛御着車、直ちに相模原演習場の觀兵式場に向はせられ、御先着の賀陽宮恒憲王殿下に御對面、出田教育總監以下御對面、出た後、御愛馬白雪に召され、

質陸宮殿下をはじめ奉り山田育總監、本條陸相、山室校長以下を從へさせられ御閲兵遊ばされた、やがて御閲兵を終へさせられ御愛馬を玉座に進めさせ給へば陸軍戸山學校軍樂隊を先頭に光榮に勇む生徒一同は御馬前に堂々の分列行進を[illegible]、陛下にはその旺盛なる士氣に深く御滿足あらせられると承る、かくて 陛下には十一時三十二分式場發御同四十分陸軍士官學校に行幸午后零時五十分より大講堂において優等卒業生用中餐、

歩兵士官候補生の講演を御聽取ついで卒業生の職術築城及びに關する作業を入覽あらせられ、更に校庭に設けられた卒業証書授與式場に臨御、山室校長より東久邇宮彰常王殿下をはじめ奉り卒業生徒に卒業証書授與、ついで清水侍從武官より優等卒業生十七名に對し恩賜品を傳達、一同皇恩に感泣した、かくて 陛下には御休憩ノ後二時二十分諸自奉送裡に同校發御、同四十分遊ばされた、やがて御閲兵を終へさせられ御愛馬を玉座に進めさせ給へば陸軍戸山學校軍樂隊を先頭に光榮に勇む生徒一同は御馬前に堂々の分列行進を[illegible]、陛下にはその旺盛なる士氣に深く御滿足あらせられると承る、かくて 陛下には十一時三十二分式場發御同四十分陸軍士官學校に行幸午后零時五十分より大講堂において優等卒業生用中餐、

内閣更迭と關係なく 總裁は絶對恒久化

有馬賴寧伯、首相に進言

【東京四日同盟】有馬賴寧伯は四日午前近衛首相を訪問、新體制問題に關し會談正午辭去したが、右會談において有馬伯は新體制準備會の討議經過に鑑み、左記の點につき進言した趣である

一、「總裁恒久化」新體制建設に國民協力組織（假稱）の總裁は内閣の更迭に關聯なく、恒久的なものとすべきである、即ち組織大綱議案によれば總裁は總理大臣の專任とすとあるが、あくまでも國民の組織である以上、その總裁は内閣更迭に影響されずして、新組織の權威を保つよう、首相と總裁との關聯を絶ちその地位を恒久化的たらしめる必要がある、特に近衛公は新組織の提唱者であるから、將來とも首相たると否とを問はず、新組織の總裁たるべきである

一、「國民協力會議絶對必要」國民協力會議は新體制確立促進の假定的機關であるとか、または不必要論が唱へられてゐるが、下意上達の實効を擧ぐるためには絶對必要である

その對策に衝出すことゝなつた

△…八月卅一日聖市商業會議所に開かれた聖州珈琲農會々議において決議された現下の珈琲問題對策陳情團は三日リオ大統領に決議事項を提示した

△…南聖リベイラ鉛谷地帶は諸種の鑛物に富んでゐるが、今度州政府ではアビアイに製鉛所を設置、同地一帶の鉛鑛の探掘に當ることになつた、なほ伯國は現在まで鉛はスペインからの輸入に仰いでゐたが同地の探掘が軌道に乘つて來れば輸入品を驅逐するのみならず輸出さへ可能とならうと

△…本日は小學校教師の國勢調査のため小學校は何れも休日となる旨公布された

▽…バイアよりの入電によれば、ミナス州ポパトにおける石油採掘は非常に有望で、最近では一日平均數千立の噴出を見てゐる、聯邦政府ではこれに大いに力を得て晝夜兼行で次から次と發見される新油區に近代式構立を行つてゐると

▽…ゼツリオ大統領は過日國内海港及び空港における内國珈琲問題對策の策定に當り、右に對し海運業者はその今度州政府ではアビアイに製鉛所を設置、同地一帶の鉛鑛の探掘に當ることになつた、なほ伯國は現在まで鉛はスペインからの輸入に仰いでゐたが同地の探掘が軌道に乘つて來れば輸入品を驅逐するのみならず輸出さへ可能とならうと

△…本日は小學校教師の國勢調査のため小學校は何れも休日となる旨公布された

▽…バイアよりの入電によれば、ミナス州ポパトにおける石油採掘は非常に有望で、最近では一日平均數千立の噴出を見てゐる、聯邦政府ではこれに大いに力を得て晝夜兼行で次から次と發見される新油區に近代式構立を行つてゐると

ないところだ▼それにしても、尤もその枝葉をとゝ總統の打つ手に一體何であらうか、バルカンも余程な怪くすぼるとはいへ大火となる慨なく、歐大陸にはまづ後悔してゐるだけでは、乾坤一つの大勝負は打てないことはよく判つた筈、すると打つべき手は一つしかないこと、ならう

ロッパで戰爭すれば兵隊が喰だらうなんて容易なことをいつてる場合では絶對あるまい▼神經過敏なんて無責任な話、なほ伯國は現在まで鉛は[illegible]

東西南北

フランスが音を擧げてから二月の余になるが、肝腎の英獨一騎打ちの方はなか〳〵埒があかず▼それかあらぬか今度はドイツは手を代へて、スペインから通路を拜借し、ジブラルタルを攻め落してアフリカに上るだらうとの床屋軍談式予想が現れた▼同じく新しい手ではなく、奈翁も往昔一國を抑へるため埃及遠征をやり、すつかり手を焼いてゐる▼英國つて實に始末の悪い國だと、流石のヒトラーも總統もこぼしてゐそうだが、アフリカとはムツソリが、ドイツ大に委せておくのが利口のようで▼英本國がへたれば自然に肩付く枝葉の問題と

ロアンデナ

▽…ゼツリオ大統領は過日國内海港及び空港における内國珈琲問題對策の策定に當り、右に對し海運業者はその今度州政府ではアビアイに製鉛所を設置、同地一帶の鉛鑛の探掘に當ることになつた、なほ伯國は現在まで鉛はスペインからの輸入に仰いでゐたが同地の探掘が軌道に乘つて來れば輸入品を驅逐するのみならず輸出さへ可能とならうと

△…南聖リベイラ鉛谷地帶は諸種の鑛物に富んでゐるが、今度州政府ではアビアイに製鉛所を設置、同地一帶の鉛鑛の探掘に當ることになつた、なほ伯國は現在まで鉛はスペインからの輸入に仰いでゐたが同地の探掘が軌道に乘つて來れば輸入品を驅逐するのみならず輸出さへ可能とならうと

△…八月卅一日聖市商業會議所に開かれた聖州珈琲農會々議において決議された現下の珈琲問題對策陳情團は三日リオ大統領に決議事項を提示した

△…南聖リベイラ鉛谷地帶は諸種の鑛物に富んでゐるが、今度州政府ではアビアイに製鉛所を設置、同地一帶の鉛鑛の探掘に當ることになつた、なほ伯國は現在まで鉛はスペインからの輸入に仰いでゐたが同地の探掘が軌道に乘つて來れば輸入品を驅逐するのみならず輸出さへ可能とならうと

△…南聖リベイラ鉛谷地帶は諸種の鑛物に富んでゐるが、今度州政府ではアビアイに製鉛所を設置、同地一帶の鉛鑛の探掘に當ることになつた、なほ伯國は現在まで鉛はスペインからの輸入に仰いでゐたが同地の探掘が軌道に乘つて來れば輸入品を驅逐するのみならず輸出さへ可能とならうと

歸國御挨拶

私共此の度九月五日解纜のアルゼンチナ丸にて歸國致します、就きましては在伯中は一方なら[illegible]ぬ御厚誼に預り[illegible]過ぎ[illegible]ました、[illegible]伯中は[illegible]御[illegible]立[illegible]際[illegible]し[illegible]ましたが[illegible]ましては[illegible]御[illegible]見[illegible]ましてし[illegible]ましたが[illegible]ばなら[illegible]ぬ[illegible]ば[illegible]ねば[illegible]ばなりません[illegible]御[illegible]挨拶申上げます

九月五日

三橋 八十島 同 武サマシつ 同 ア ヤテケや 同 サ

歸國御挨拶

私儀今般陸上選手代表の一員として母國に派遣される事と相成、皆様より激勵文、御餞別等を賜うし誠に有難く感謝に堪えぬ次第で御座居ます、實は全伯陸上競技終了後一度歸省致す心組で御座居ましたが、リオに於けるアデマール・デ・バーロス賞大會に出場其の他でついに歸省の暇なく此のまゝ乘船致す事の餘儀なきに立致りましたので略儀乍ら紙上を以て御挨拶申上げる次第で御座います

昭和十五年九月五日

小田幸太郎

ピケロピー共和日本人會 同 青年會 並に辱知諸彦各位

御挨拶

今般拙息幸太郎が在伯同胞陸上競技選手代表の一員として母國に派遣致されるに際しましては皆様に數々の御骨折り、御激勵を賜はり誠に有難く厚く御禮申上げます

昭和十五年九月五日

小田久一

歸國御挨拶

謹啓 今般陸上競技選手代表の一員として母國に派遣される小生並に家族儀の段奉慶賀候、就ては帆のあるぜんも[illegible]時歸國致す事に相成り[illegible]丸に[illegible]一時交誼を[illegible]なる[illegible]伯中は[illegible]なる[illegible]賜篇[illegible]尚[illegible]御[illegible]別[illegible]厚[illegible]御[illegible]上[illegible]御[illegible]多[illegible]中[illegible]又[illegible]出[illegible]発[illegible]拘[illegible]上[illegible]

昭和十五年九月五日 サントス港にて 關常一 家族一同

辱知各位

謹啓 今般陸上選手代表の一員として母國に派遣される小生並に家族儀の段奉慶賀候、就ては帆のあるぜんも[illegible]時歸國致す事に相成り[illegible]丸に[illegible]一時交誼を

本社後援第五回

全伯邦人野球大会

愈よあす

榮冠目指す六球團

待望の球華開く！

大會氣分快足調！

球史燦たり五年—本社後援全伯邦人野球大會はいよいよ明日に迫った、全伯三十數球團その中から選りも選られた六チーム、東から、西から或は南、北からと、「きっと勝つて來い」の熱烈の聲援に送られ、全チーム聖市に集結いまや遲しと晴れの開會式をまつばかり

このうち鶴舞の參加三チーム、こゝに破竹の新進と百錬の古豪と、臍ツ玉と神技、清潔、しかも豪快極まりなき技はまさに演ぜられんとして入り亂れて相搏つところ青雲の下、聖純にして、澄闘へ！眞紅の大優勝旗めざして、晴れの入場式はカナカオ球場で明六日午前九時から、火花散る第一戰は同午前十時チェチ對オラトリオによつて火蓋を切る

なほ本日午後八時から日本倶樂部サロンで六チームの主將會議が開かれる

主將會議

運動場を付屬せしめ體操を授け、なほ地方の事情に應じ出來得れば陸軍士官又は下士官に教導一依頼する

一、兒童保護者又は責任者は監督以下七名は、けふ午後一時半ルス譯發、萬歳の歓呼を浴びて下棧、あるぜんちな丸で壯途につく

日本遠征陸上軍一行井上第一邦人青年部會では出發に先立ち三日午後六時半より日本倶樂部において壯行會を盛大に催した

頑張つて來いよ

日本遠征陸上軍　勇躍發つ

けふ　午後一時半

日本遠征陸上軍一行井上第一

柔劍道の總本山に燃え上る革新の狼火

▽……成るか聯盟の肅清

日本武道の眞價認識され最近目立つて伯人間にも進出して來た柔劍道の總本山伯國柔劍道聯盟に燃え上る改革の火の手！深く聯盟内部の革新派は一部保守派の煽え切らぬ態度を目して

これは柔劍道聯盟を自家藥籠中のものにせんとする全く新時代に適應しない保守的な態度だと見做し、延いてはこれが柔劍道の健全な發達を阻害し純情なる青少年層の指導を誤るものである

として部内の肅清を叫んで來たが、最近この問題は果然面化し、行を共にするを潔しとしない革新派役員は相次いで辭意を表明してゐる、一回の辭意を表明してゐる、一聯盟の肅清は早晩斷行されねばならなかつたもので、これが表面化したことも寧ろ遅きに過ぎた位ひだ、今然面目を一新し明朗柔劍道聯盟として再生のスタートを切ることゝならうと見てゐる

義務教育嚴重施行

七歳から十二歳迄

初等教育委員會の原案成る

O ensino primario

初等教育委員會では豫て伯國小學校令について檢討中だつたが、この程漸く原案作成カパネマ教育相の手許に提出した、その要綱は大體次の通りである

一、滿七才乃至十二才の兒童に對し全て義務教育とする

一、小學教育は公私立乃至家庭において施す

一、教育方針は第二世を伯國人々家社會に完全に融合せしむる精神に立脚する

一、小學校行政は各州の所管とするが教育省の意向は充分尊重しその命令を履行する

一、教育省は各州にその連絡機關を置く

一、聯邦ならびに郡はその歳入の最高二割、州は最低二割を初等教育費に充當する

一、植民地においては八才乃至十二才を義務教育年齢とし、公私立學校において授業、家庭教育は原則的にこれを禁止する

一、植民地においては校舍に

執政官と歡談

三日選挙した伯國士國一行は二月成瀬執政官代理及び齋藤副領事の案内でアデマール・デ・バロス執政官を官邸に訪問、お別れの挨拶を述べた（寫眞は執政官と歡談する議員團）

長期戦

▽…興支店長の宮腰さん今週の土曜日には「お嫁夫人」の長谷川敏子さんを自宅に招き好物のお茶漬をフン・ダンに振舞つて歌藻の旅愁を慰めることゝなつた、ナニ？お茶漬だけ？それだけでよかつたらわしの家にもどうぞ、コレ〳〵口を慎みなさい

▽…既報、一大飛躍を期して斷行した職制改革で海興次席となつた坂元鎮吾、心境を述懐して曰く「辭令チヨウダイ（鎮台）仕り候得共自責（次席）に堪えず」と

▽…柔劍道聯盟では武に勵む當地青少年の親睦しい委を篤眞におさめ紀元二千六百年奉祝海外同胞大會へ送ることゝなつた

▽…本職の棉花は素よりの經濟に關することゝ、使館が設置される筈だとも棉花園丸輝二氏は昨四日知友に挨拶廻りをすませて下棧、けふ出帆のアルゼンチナ丸で一時歸國する、來年三月頃には再び來伯、皆さんにお目見えしますと

▽…入江通譯官がポリビア首府ラパ！スに長期出張を命ぜられたことは既報の通りであるが、日本と同國の通商關係は最近非常に緊密化してゐるので同地に領事館開設の準備を進めるためだとのこと、行く行くは公使館が設置される筈だとも いはれてゐる

▽…來る七日の伯國獨立記念日にちなみ今週は「愛國週間」となつてゐるが、きのふ聖市小學、中學、專門學校の生徒や兵隊さんの街頭行進があり大賑はひであつたが、一昨日前途を惜しまれつゝ死去した

▽…最低賃銀法で給仕、床屋などチップを貰ふものはどうするかゞ問題となつてゐるが、女給さんなんかはヘチどうなるものやら、尤もチップだけで最低賃銀など遙かに凌駕ばす豪勢さだから別に心配はない譯だが…

▽…藤平運動具店では全伯野球大會參加チーム（それ〳〵ペナントを寄贈したのふ聖市小學、中學、專門學校の生徒や兵隊さんの街頭行進があり大賑はひであつたが、一昨日前途を惜しまれつゝ死去した

▽…今度のあるぜんちな丸では南大河州國境から引擧げ再起を目指す富岡バロンや國井五郎氏夫人が三女美代子さんとお孫さんを連れて歸國する

▽…前號本欄所報、官選代表と商船との旅費をめぐる輔當事件は「官選代表への旅費といつてもその全部で

▽…ノロエステ陸上界の宿將として活躍した馬島治君（三〇）は先般來病臥中であつたが、一昨日前途を惜しまれつゝ死去した

▽…ノロエステ線アラサツーバ國弟二アリアンサ産組養豚部勤務の宮城縣人新沼榮之助（四一）氏は豫て病氣加療中の處九月二日午後七時アラサツーバ市において急逝した、氏は飄逸信淡の名物男、四兄未亡人あり故郷に送られてゐる

大水の引けた樣……

觀光團下棧でヒツソリ閑！

きのふのコンデ街

商船あるぜんちな丸は一等十二名、團體七十名、一般二百名、合計二百八十二名のお客さんを滿載してけふ午後サントスを出帆一路母國へ向ふが母國觀光團は昨日各自思ひおもひに下棧、五日正午三笠旅館に集合しそれから隊伍を組んで船に乘込む事になつてゐる觀光團やらその他の日本歸りの人々でゴツタ返す賑ひを呈してゐたコンデ街もきのふの午後は大水の引けた樣にヒツソリ閑としてゐた

母國觀光團

熊本縣が筆頭

母國觀光團六十四名（男四十三名、女二十一名）を各縣別に見ると次の通り（數字は家族數）

熊本六、長野四、廣島四、北海道三、鹿兒島三、千葉二、沖縄二、靜岡二、愛媛二、島根二、福岡二、山口二、和歌山一、岐阜一、茨木一、愛知一、東京一

寫眞は後列　右から玉置、松原、峯、前列、島田主將、井上監督、小田、石田の諸君

日伯親善に野球が一役

コルネリオ・プロコピオ便り

サンパウロ警察の手で押へられ投獄し現在リオ市方面に潜伏の模樣である、リオ、聖州、ミナス各州警察では各州境に水も洩らさぬ厳重なる警戒網を張つてゐるが、未だに捕はれるに至らない、なほ聖市警察では犯人を捕縛した者には賞金二コントを與へると

北パラナ、コルネリオ・プロコピオ市では紅蓋病院建設資金募集のため種々の催しをしてゐるが、過日同市警察署長より邦人側に野球試合をしてその入場料を寄附して呉れないかとの相談があり、邦人側でも喜んで承諾、早速ピリアニツト對セントラル戰を擧行しその日の入場料や附近邦人集團地の寄附金など一コント餘を寄附したが、署長及び伯人有志は非常に喜んでゐた、なほ試合は十九對十二でセントラルチームの勝利に歸したとの報

海外同胞代表者大會に就て

マイクを通じ在伯同胞へ講演

鈴木大會事務總長より

鈴木大會事務總長鈴木美通氏がマイクを通じて在伯同胞に對し海外同胞大會についての題で講演を行ふことゝなつた

汎ノロ庭球大會

十五日開く

既報、汎ノロ庭球大會はいよ〳〵來る十五日（日曜日）午前八時よりプロミソンコートにおいて開催される、當日は菊地理事長杯を國つて白熱戰が演ぜられるが、參加決定チームはプロミソン、チエチ、パラマンサであるが本年はリンス軍の參戰をみた期待してゐる、なほ昨年度優勝はチエチである

汎アバレー雄辯大會

ソロカバナ線汎アバレー青年聯盟主催の第三回青年雄辯大會は去る一日正午よりアバレー産組倉庫で盛大に開かれた先づ紺野委員長の開會の辭あつて後、火を吐く舌鋒が開始された、審査の結果は左の通り

▲一等黒崎秀一郎（サンタクルス）▲二等大川原幸一郎（アバレー）▲三等加藤正（東洋）▲四等野々垣末次郎（東洋）▲五等工藤弘（フロランテ）▲六等大久保勝男（サンタクルス）▲七等梅木良治（東洋）

△團體優勝　東洋青年會

圓盤親善

去る八月三十日朝桑島大使の許に聯邦直轄府小學校で採用されてゐるブラジル民謡、童謡を吹き込んだレコードが届けられたこの贈りものは聯邦府教育總務長官ピオ・ボルジエス大佐から東京の小學兒童へブラジルの土産として贈つて下さ いと可愛な手紙を添えて近く依頼して來たものである

ニツポンの子供へ

伯國から贈り物

童謡レコード・アルバムを澤山

桑島大使は直ちに自畫自讃の葉卷をくはへた淵を送り「先づこの通り」と見得を切つたところ、御蕙贈の漫畫なか〳〵眞に迫つて見事、相變らずの愛嬌振り確かに見屆け申し候も、之も晴るところは貴殿のお蔭とさ感謝するためのものに御座はすや、御心中深く御推察申し上候

となか〳〵意味深長な返書あり、臨時ゾルテイロの成瀬領事もスツカリ苦笑の態、どうやらこの勝負、トーマス氏の方に歩があるやうだとは館員さん一同の判定

ゆらぐ蔬菜組合

幹部内の軋轢から

四十名の脱退騒ぎ

毎月二百コント餘の賣上げを見せて今日まで堅實な歩みを續けて來た聖市蔬菜聯合會が、ゴタ〳〵騒ぎを起してゐる—聯合會では去る八月三日の定期總會で役員の選擧を行つたが、兩來幹部間の折合面白くなく暗雲低迷の狀態を呈して來たが、遂近遂に爆發し前回監事一名を殘し總辭職をしたの他、四十名の組合員が連袂脱退の擧に出でた、なほ前田監事は前後虚置のため去る三十一日午後一時から組合事務所において臨時總會を開き、組合再建設につき奔走した結果、前記脱退組の預金及び出資金合計約七千二コントを拂戻すことに決し、次いで役員選擧を行ひ組合強化への再スタートを切つた

奮へ！街の探偵

稀代の國際僞札魔脱獄

捕縛者には賞金二コント

世界各國を跨にかけ最近はブラジルに來て紙幣の僞造を計畫した稀代の國際兇賊パウロ・ブラジル・マツゼオは先頃

募集

青年　敷名

希望者は直接左記へ

日伯社

募集

明治神宮奉納四才位以上後日洗濯屋に出る見習三名パツサツに經驗ある人を好條件を以て雇ひ度し　希望者は來談あれ

聖市ペンジヤミン・オリベーラ街三八〇

チンツラリア・セレジア

・櫻洗濯店

新沼榮之助氏

社告

左記の者御地方へ出張致させて居りますが故御配慮の程お願申上げます

マリ、ヤ方面　田中行雄

カフエランジア・ピリグキ方面　中山貞男

ランシヤリア・パラグアス間　平尾七五三吉

奥ソロ方面　小畑秀雄

アラサツーバ・カンポグランデ間　清地幸操

パラウ・クルス間　弘本壽雄

サントス方面　吉川光男

ピリグキ方面　片山英太郎

ブラジル朝日新聞社

Restaurante Caverna Paulista
R. Libero Badaró, 39
Tel. 3-2978 - S. Paulo
各種内外飲料物安會、婚禮には別室サービスの家族揃つて御來店の程を
晝食　夕食　七鈎

田齒科
聖市パロン・デ・ツツプラ街八九　中央メルカード隣

農産物仲買及委托販賣
聖市中央メルカード・パラツカ三七　新垣幸一
電話二一〇〇八七番

金
ダイアモンド、モンテソロ、質札、寶石、銀、白金高價買入れ
ブラジル銀行認可
R. Alvares Penteado, 208 (ant. 29) 2º. and. sala, 6
Del Moraes

ノロエステ今井齒科醫院
カフエランヂア

シャカラ
セントラルノロエステ線サパウナより五キロ、梨、無花果等數千本の果樹あり住宅雞小屋付八坪貸又は貸したし希望者はモチ組合川里氏又は地主
St. Ricardo Fernandes又はSt. João Cajetani

貸ペンソン
新築二階建、各室美麗にして水道最新式浴室付ペンソン貸したし、ルス驛の近く
Rua Gal. Osorio Magalhães 289

SALÃO SANTOS
銀座　新城
Tel. 2842 SANTOS

Redacção e Administração:
Rua Maestro Cardim, 1109
Teleph.: 7-3325 e 7-3326 - Cx. Postal 375
SÃO PAULO-BRASIL

BRASIL ASAHI
EX-NIPPAK SHIMBUN

DIRECTOR: José Yamashiro

ASSIGNATURAS:
PARA O BRASIL { Anno . . . . 60$000 / Semestre . 30$000
PARA O EXTERIOR - Anno. . .120$000
ANNUNCIOS — Temos á disposição dos interessados uma tabella completa de preços p/ annuncios nesta folha

Anno I | São Paulo — 5.a feira, 5 de Setembro de 1940 | Num. 37

NOTAS E EDITORIAES

O momovimento em prol da chamada nova ordem politica no Nippon acha-se actualmente em franco desenvolvimento, mas quanto á substancia do mesmo nada sabemos, pois a Commissão Preparatoria está ainda estudando a questão com bastante cuidado. Comtudo com a repetição das reuniões daquella Commissão, vão se esclarecendo aos poucos o rumo e o caracter da nova ordem politica. E' de se suppôr tambem que quando o principe Konoye resignou o cargo de Presidente do Conselho Privado, para chefiar o movimento, no seu cerebro já estivesse formado, em linhas geraes, o contorno do novo systema politico. E por occasião da retirada do Gabinete Yonai do poder, para ceder logar ao principe Konoye, este já teria tomada firme decisão a respeito do movimento em apreço.

O principe Konoye tomou sua decisão por ter percebido que na actual situação internacional, a situação interna do Nippon não pode continuar a manter o "statu quo", entre o povo, por sua vez, surgiu uma tendencia favoravel a uma renovação interna, concitando o principe a encabeçar o movimento. Ao mesmo tempo, na consciencia do principe Konoye havia o sentimento da responsabilidade, em relação ao conflicto chinez, visto ter sido elle o chefe do governo na occasião do inicio das hostilidades. Em tres annos de conflicto, houve quatro mudanças ministeriaes sem se chegar ao termino da lucta.

A guerra europea veio augmentar as difficuldades para o paiz, e o principe teria sentido, a nosso ver, sua responsabilidade crescer, dia a dia.

No entanto, o principe Konoye não tomou nenhuma iniciativa para derrubar o ministerio, com o fito de subir ao poder. O que realmente desejou, desde o começo, foi a nova organização nacional, com o objectivo de construir as bases de um novo Nippon, com o apoio integral do povo japonez. Parece que jamais visou a conquista dos partidos politicos, nem quiz formar um partido unico nos moldes da Allemanha ou da Italia. Sob este ponto de vista, o movimento em prol da nova ordem pode ser considerado uma especie de movimento estado-novista, movimento politico nacional com a finalidade suprema de renovar e organizar o Nippon de accordo com as circumstancias actuaes e preparal-o para as vicissitudes futuras.

Os acontecimentos, porém, se precipitaram, de tal modo que não permittiram ao principe Konoye realizar, com vagar o seu grande e vasto plano. Elle foi constragido, por assim dizer, a desempenhar o duplo papel de chefe de governo e organizador do novo systema politico. Naturalmente ha uma intima e inseparavel relação entre o governo e o novo systema, ora em organização, mas no momento actual, o estabelecimento da nova ordem é muito mais importante para o Imperio do que o governo, pois que vae decidir o destino do Nippon.

A respeito do novo systema politico nipponico, ha quem o compare ao nazismo e ao fascismo, mas como se nota na declaração do principe Konoye e se pode concluir da evolução do movimento, bem como do seu caracter e suas tendencias, differe muito, segundo nos parece, dos regimes allemão e italiano. Apenas devemos pensar na possibilidade do Nippon, para vencer as difficuldades nacionaes, adoptar certas medidas politicas semelhantes ás tomadas pelas potencias do eixo Berlim-Roma.

A evolução do novo systema merece a maxima attenção, da nossa parte, visto ella decidir a sorte do Nippon.

***

As negociações nippo-chinezas para o reajustamento das relações dos dois paizes tiveram inicio a 5 de Julho ultimo, entre o embaixador Abe, representante do Nippon e o sr. Wang, chefe interino do governo nacionalista chinez, e, após 16 reuniões, chegaram a um accordo definitivo, no dia 31 de Agosto. Os termos do referido accordo passarão pelo exame do Departamento de Restabelecimento da Asia do governo de Tokyo, após o que receberá a sancção de Sua Magestade o Imperador. Só então serão publicados. Ignoramos ainda, portanto, o contendo do importante accordo. O certo, entretanto, é que os dois paizes concordaram em reajustar suas relações sob bases novas e fundamentaes, e o segundo informam os ultimos telegrammas, o accordo em questão differe radicalmente dos tratados commerciaes communs, até hoje existentes. Será um accordo original, constituindo uma novidade na historia das relações internacionaes.

Pelo tratado, que será em breve assignado pelos dois governos da Extrema Asia, o Nippon reconhecerá o governo de Nankin, como legitimo governo da nação chineza. O governo de Chang-Kai-Chek consequentemente, será reduzido a um simples governo regional. De um lado, este passo dado pelos governos de Tokyo e de Nankim, demonstrará ás terceiras potencias que a grande obra de estabelecimento da nova ordem na Asia, entrou na sua primeira phase de realizações praticas. Por mais que neguem a Gran-Bretanha e os Estados Unidos, uma vez que existe realmente um governo legitimo da China em Nankim, as potencias favoraveis ao governo de Chungking, não poderão continuar a manter suas relações com a China, a não ser que reconheçam o governo do sr. Wang-Ching-Wei.

Uma vez que o Nippon reconheça officialmente o novo governo, outros paizes como o Mandchukuo, a Allemanha, a Italia, a Hespanha e outros, seguirão o exemplo.

Os governos de Tokyo e Nankin se esforçarão para exterminar o governo de Chang-Kai-Chek. Tambem para a manutenção da ordem na nova China, o Nippon auxiliará o novo governo do sr. Wan Ching-Wei, ao mesmo tempo que cuidará do desenvolvimento economico daquelle paiz visinho, até hoje, victima da exploração e do imperialismo de certas potencias occidentaes, que, como é do conhecimento dos entendidos em assumptos chinezes, não hesitaram em disseminar o opio na população chineza para com maior facilidade dominal-a economicamente. Não se deve esquecer tambem que a campanha anti-japoneza na China, teve origem não em Nankin ou Pekin, mas em Londres e Washington, como ainda hoje os observadores argutos poderão perceber

Felizmente, com o nascimento do novo governo nacionalista chinez, o Nippon e a China se approximarão, pela mutua comprehensão e mutua sympathia, pois a voz da Nova Ordem da Asia Oriental, está despertando todos os povos asiaticos, para o diluculo de uma nova e brilhante phase de explendor do Oriente.

***

O sr. Yahichi Otani, novo consul do Japão em Santos neste Estado, chegará a Santos no proximo dia 27, pelo "Buenos Aires Maru". O diplomata nipponico já esteve duas vezes no Brasil, sendo a primeira, de 1914 a 1916, quando trabalhou na embaixada do Rio. Em 1916, veio para São Paulo, onde permaneceu cerca de um anno, regressando então ao Nippon. Em 1921 veio novamente para o Rio, ficando até 1924, como funccionario da embaixada.

O novo consul possue numerosos amigos no Brasil.

***

A's creanças escolares do Japão, por intermedio do embaixador Kazue Kuwajima, foi offerecido, pelo secretario geral da Educação do Districto Federal, coronel Pio Borges, um album de discos contendo hymnos e canções escolares, adoptados nas escolas primarias do Districto Federal.

A entrega do album, que foi organizado pelo Departamento da Radio-Diffusão Cultural da Prefeitura, com o concurso de córos orpheonicos de elementos das escolas primarias, — foi feita pelos srs. prof. Manuel Pinheiro, chefe do serviço da Radio-Diffusão, e dr. Pedro Avelino, official do gabinete do Secretario Geral de Educação.

O noticiario telegraphico publicado pelo "BRASIL ASAHI" é fornecido pela Agencia Dômei, japoneza.

A classe armada e as novas directrizes do Governo Imperial

Tokyo, 2 (Dômei) — Com o objectivo de reorganizar as relações entre as forças armadas e o Poder Director Central que constitue o organismo coordenador do novo regimem, as auctoridades militares, após rigorosos estudos, levando em consideração as opiniões dos membros da commissão elaboradora da nova estructura politica do Imperio e de accordo com as seguintes deliberações, decidiram cooperar decisivamente com todos os orgams nas obras de remodelação asiatica:

1.°) — Considerando o poder central como a mais elevada instituição politica, collaborar decisivamente nas suas actividades.

Entretanto, os militares effectivos, não poderão occupar cargos publicos a não ser as posições directamente relacionadas com o exercito ou a marinha, como conselheiro militar, chefe de departamentos militares, etc.

2.°) — As auctoridades militares manterão intimas relações com os departamentos de interesse collectivo de iniciativa nacional.

3.°) — As communicações entre as forças armadas e o governo serão feitas, posto que as duas instituições desenvolvam suas actividades completamente autonomas, por intermedio do primeiro ministro que tomará parte nas assembléas conjunctas do ministerio e Estado Maior do Exercito.

Firmado o accordo diplomatico nippo-chinez

A embaixada diplomatica imperial

Nankin, 2 (Dômei) — Sobre a ultima sessão da Conferencia Nippo-Chineza de reajustamentos diplomaticos, encerrada no dia 31 do mez proximo findo, foi publicado o seguinte communicado, no mesmo dia:

"Communicados das 18 horas:

A 16.a e ultima sessão foi aberta as 16 horas. Depois da leitura e approvação por unanimidade do texto do accordo, houve troca de saudações entre os chefes das delegações chineza e japoneza.

O encerramento dessa ultima sessão da conferencia "in loco" sobre a rehabilitação das relações diplomaticas deu-se ás 17,30 hs."

Nankin, 2 (Dômei) — A comitiva da embaixada diplomatica imperial para a conferencia, realizada nesta cidade para o reajustamento das relações entre o Japão e a China, formada dos snrs: — Abe, chefe da delegação, Matsumoto, secretario: coronel Kawamoto, tenente-coronel Fujii e os snrs. Yano, secretario do departamento de Restauração da Asia, Suguiwara, secretario da Embaixada do Japão em Nankin, concluidas as negociações, partiu de regresso, na tarde de hontem, rumo a Shanghai, pela via ferrea, levando o texto do accordo.

A delegação seguirá para o Japão a bordo do "Taiyo Maru" que, deixando Shanghai amanhã dirigir-se-há directamente para Kobe, donde a embaixada regressará immediatamente á capital do Imperio.

Consta que a assignatura do accordo será feita em Nankin, logo depois da conclusão das formalidades internas.

Nankin, 1 (Dômei) — O accordo diplomatico nippo-chinez será assignado, muito em breve.

O governo chinez esta proseguindo na escolha rigorosa no sentido de indicar uma das altas personagens para delegado plenipotenciario do seu paiz junto ao governo de Tokyo.

Alto funccionario do Governo de Nankin em visita a Pekin

PEKIN, 1 (Dômei) — O snr. Changfuhai, chefe do Departamento de Fazenda do novo Governo Popular Chinez, que ora se acha nesta cidade, realizou visitas de cortezia a varios departamentos militares.

A' tarde, o snr. Chang conferenciou longamente sobre assumptos administrativos de alta importancia.

Impressos?

Procure a typographia

NIPPAK-SHA

Medidas a serem Adoptadas para as Organizações Politicas

Tokyo, 31 (Dômei). Prevê-se que na segunda reunião da Commissão Preparatoria, dos Estudos da Nova Estructura Politica um dos pontos a ser deliberado, seja a relação existente entre a secção orientadora do novo regimen e as organizações politicas actuaes.

No concernente a esse assumpto foram realizadas tres conferencias consecutivas dos secretarios, os resultado a que chegaram sendo o seguinte:

As actuaes organizações politicas existentes, bem como as que doravante irão se constituir são garantidas e reconhecidas pela Constituição, não podendo, portanto, ser abafadas nem prohibidas por leis ordinarias. Porém, como o primeiro Ministro Konoye, em sua declaração, na primeira reunião da Commissão Preparatoria, manifestou claramente que este movimento de organização nacional tem por objectivo fundamental sublevar a nação inteira, integral e generalizadamente, de maneira a concentrar a força total do povo, não ha duvida nenhuma com relação aos partidos politicos, que se acham tambem integrados neste movimento.

Deante disso, os partidos politicos existentes devem ser orientados para as respectivas e espontaneas dissoluções e quanto aos que para o futuro vão se constituir, consta que devem ser fiscalizados por meio de corporações adequadas.

Por conseguinte, si por ventura, na 2.a reunião da Commissão Preparatoria for posta em discussão o problema de partidos politicos, será apresentada esta conclusão a que chegaram os secretarios nas varias conferencias effectuadas e já exposta acima.

Deixou Kobe a Missão Especial ás Indias Hollandezas

SHIMONOSEKI, 2 (Dômei)— A delegação especial que visitará as Indias Hollandezas, chefiada pelo ministro Kobayashi chegou hoje a esta cidade em trem especial. Em Kobe a delegação embarcou no "Nishô Marú" com destino ás Indias, ante ás acclamações das altas auctoridades civis e militares presentes.

Entrevistado pelos representantes da imprensa local, o chefe da Missão declarou:

"Pretendemos emprehender todo o esforço possivel para obter, de accordo com a nova politica do Imperio, os melhores resultados para cumprir satisfactoriamente a alta incumbencia que recebemos".

Noiva

E os dois noivos vão caminhando a pé... Braços dados, mãos dadas.
A primavera floresce.
Ambas as almas em harmonia,
enleadas,
num mago encantamento perfeito.

Cheios de esperanças,
como creanças.

Amam-se com respeito.

Enamorados,
abençoados.

***

Minha felicidade é bem fundada, minha suave companheira é toda bondade, prudencia. Toda santidade, espiritual. Toda temor de Deus. Será para sempre companheira carinhosa e delicada.

E juntos ou separados, por grande distancia, nós mesmos, sem poder comprehender tão sublime mysterio, rendemos graças a Deus. — **M.**

88 dias no Extremo Oriente

IV — José Yamashiro

19-4-940

Os cafés, as casas de chá, os restaurantes, as lojas (que funccionam até ás 22 horas), os "omise" (feira noturna) estão abarrotados de gente. Os caravanistas ficam attonitos, ante tanta gente, tanta animação e sobretudo ante tanta calma deste povo que está em guerra com a China, ha quasi tres annos. Não pudemos rèpprimir a pergunta incontida que aflorava aos nossos labios:

— Onde está a guerra?

Mas, ás 23 horas toda a Tokyo se recolhe: as casas de diversões, as lojas, cerram suas portas. Os taxis recolhem-se. E os retardatarios terão que tomar bonde ou omnibus, pois depois da meia noite não ha nenhum automovel na rua. Os taxis recebem apenas 2 galons de gasolina por dia. De maneira que mesmo de dia, muitas vezes, recusam-se a acceitar passageiros para pontos longinquos. O silencio domina até a propria Guinza.

Notamos que a illuminação das ruas é fraca. Explicam-nos que o consumo de energia electrica é controllado, reduzido ao essencialmente necessario.

Não ha mais os celebres "neons" da Guinza.

Começamos então a perceber que o povo nipponico está fazendo sacrificios inauditos, para levar avante a grande obra de reerguimento da Asia Oriental. O paiz está enfrentando, ha tres annos, a maior das guerras da sua historia, sem um emprestimo no extrangeiro. Para isso o povo faz a maxima economia nos gastos. O luxo, o superfluo está sendo abolido gradativamente, em todos os meios sociaes.

Tokyo, 20-4-940

Hoje é dia destinado a visitas pela capital. Pelo omnibus de excursão ("Yuransha"). A cobradora, "mussumê", de 16 ou 17 annos, vae explicando tudo o que vamos vendo. Ella fala sem parar. Nos intervallos de um estabelecimento publico a um monumento ou uma ponte historica, apresenta-nos dados estatisticos e historicos sobre a cidade. Não pára de falar. E o nosso interprete precisa traduzir suas palavras para os 22 caravanistas, ávidos de informações e de curiosidades. Ficamos sabendo por exemplo que Tokyo possue hoje sete milhões de habitantes approximadamente e tem uma superficie de 580 kilometros quadrados, divididos em 35 districtos, e que seu nome antigo Yedo veio do nome do seu fundador Yedo Tarô. etc.

Visitamos em primeiro logar o Palacio Imperial. Em frente ao Nijubashi, inclinamos respeitosamente, em cumprimento collectivo. Numerosos cidadãos, principalmente escolares e estudantes, veem visitar o Palacio Imperial, de todos os recantos do paiz.

Seguimos para o sanctuario Meiji. Descemos em frente ao primeiro "torii" (portão de templos shintoistas que consiste de duas traves horizontaes sustentadas por duas columas). O sanctuario está no centro de um immenso parque, que segundo nos informaram conta cerca de 120.000 arvores, arvores estas offerecidas pelas associações juvenis de todo o Imperio. Caminhamos por uma alameda pedregulhada. Sente-se, desde a entrada do parque, algo de elevado e espiritual. Os peregrinos, oriundos de todas as cidades e provincias, formam um verdadeiro cortejo ininterrupto, ao longo da alameda principal. Passamos o segundo "torü". E logo adiante, lavamos as mãos com agua tirada em conchas do tanque alli existente. Lava-se a bocca tambem. E' a purificação obrigatoria na entrada dos templos shintoistas. Em frente á ante-sala a gente atira uma moeda, bate palma e se inclina, apresentando o cumprimento respeitoso ao espirito santificado do Grande Imperador Meiji.

Retomamos o nosso "Yuransha", e seguimos para a Casa da Marinha ("Kaigunkiwan"). E' um verdadeiro museu da marinha, onde, em poucas horas, a gente pode adquirir muitas noções a respeito de tudo quanto se refere á marinha de guerra moderna.

(Continúa)